

令和6年度 第2回米子市図書館協議会・会議概要

○日 時 令和7年1月31日（金） 午後2時から午後4時まで

○場 所 米子市立図書館 研修室1、2（2階）

○出席者 委 員

渡邊真子（会長）、上村一也（副会長）、足立彰子、八幡晋史、
金本由香、小原葉子、吉井美和子、原 篤成

事務局

（米子市立図書館）永瀬館長、（一財）米子市文化財団 佐藤図書課長
（米子市教育委員会）毛利生涯学習課長、松永生涯学習課担当課長補佐、
新見生涯学習課主任

○欠席者 2名（ト蔵久子、野津寛美）

○傍聴者 なし

○報道関係 なし

【協議会の概要】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議事

（1）令和6年度利用状況及び事業実施状況について

《事務局説明》

下記の内容について資料に基づいて説明。

[資料1－1]令和6年度図書館利用状況《12月末現在》

[資料1－2]令和6年度図書館事業実施状況《12月末現在》

《参考資料1》館内飲食の在り方の見直しについて

《参考資料2》米子市立図書館における駐車券無料処理の運用について

《参考資料3》移動図書館車が新しくなりました

《委員質疑・意見》

- （委員）学校図書館への貸出（米子方式）のおかげで、学校現場は図書を活用した授業ができている。近年はChromebookが生徒に貸与された関係で、調べ物をする時にChromebookを開いて調べることが授業でも多くなってきたと感じているが、図書館資料をドサッと借りて、その資料で授業をするという機会は数字としても減ってきているのでしょうか？

⇒（事務局）

詳細の数字はまだまとめられていないが、学校の授業の仕方の変化により、学校への長期貸出冊数は確かに以前より減っている傾向はある。

⇒（委員）

自分自身、この図書の物流システム（米子方式）のことで、他県に行って紹介したこともあるが、本当にすごいことだと感じている。減少傾向に

あるということだが、やはり手に取って調べるという体験もぜひ継続して
いきたいので、米子方式についてもぜひ継続していただきたいと考えてい
る。

(2) 利用者アンケート結果について

《事務局説明》

下記の内容について資料に基づいて説明。

[資料2-1]利用者アンケート結果（概要）

[資料2-2]利用者アンケート結果（年代別集計）

[資料2-3]利用者アンケート結果（その他主な意見）

《委員質疑・意見》

- （委員）トイレにペーパータオルがあると良いという意見に対し、ハンカチなど
を持参してほしいという回答をされている。ただ、お店などはいまだにペ
ーパータオルやジェットタオルが設置されていて、特に大人はハンカチを
もってくるという習慣が薄れていっているのではないかと思う。図書館で
トイレに行って、洗わずに出てくるのか、濡れたまま出てくるのか、いず
れにしても怖いなと思っている。マナーアップ大作戦をされている裏で、
いろんな信じられないことも起こっているという図書館の現状を知ってし
まったので、大切な書籍を守るためにもペーパータオルの設置を検討して
もらいたいという想いがある。

⇒（事務局）

図書館は市民の税金で運営している公共施設なので、利用者一人一人の
心がけでお金をかけなくてもいいことがあるとすれば、なるべく他のこと
にお金をかけられるようにしたいという考え。ペーパータオルを設置する
とゴミが出るが、清掃業務の委託料が増える可能性がある。また、普段図
書館のゴミを持って帰って下さいねと呼びかけをしているのにもかかわ
らず、ペーパータオル用のゴミ箱を設置することにより、2階の南側テラ
スでお弁当を食べられたくずをゴミ箱に捨てられたりというように、いい
ことをしているつもりが矛盾するようなことになって、全てが上手く進む
ように組み立てられないというのが現時点の考え。

⇒（委員）

ジェットタオルならば、ゴミは出ないので可能性はあるのかなと思って
いる。

- （委員）読書通帳の導入希望について。境港市民図書館にも読書通帳があって、
私も時々利用してみるが、自分が読んだ本が記入されて残ると非常に嬉し
くなる。もちろん費用はかかるが、どのように対応していかれようとして
いるかご意見を伺いたい。

⇒（事務局）

読書通帳にお金をかけるよりも、他のところにお金をかけたほうが良い
のではないかというのが基本的な考え。境港市にも聞いてみたが、結構お

金がかかっているという話で、他の部分との比較検討の中で優先順位の高いところには、現状、挙がってこないサービスだと受けとめている。

⇒（委員）

子どもたちが学校司書の方たちと、読書通帳でこんな本を借りたよと見せたりして、それを参考に本を紹介してもらったり。小さいころからの読書通帳を見て、高校生が改めてそんな本を読んだんだと、振り返れるのもいいと思う。逆に、1か月でこれだけしか読んでいないなと（少なく）感じて、また本を借りてみようというきっかけにもなるかもしれない。子どもが図書館に足を運ぶひとつのきっかけになってくれたらいいなと感じている。私の個人的な意見として伝えさせていただいた。

【欠席委員の意見】※事務局から紹介

- （委員）市役所駐車場に親子のための駐車スペースを作ってほしいという意見に対し、自ら現場を見に行き、検討してみた。駐車場と歩道の間の生垣の中にガスのメーターがあったが、そこを避けてもある程度台数確保はできるのではないかと考える。区画も今は狭いので、大きなワンボックス用に合わせる等の考慮も必要ではないかと考える。

⇒（事務局）

前回の回答と同様だが、市役所駐車場の担当課の総務管財課に伝えており、先般の市議会でも駐車場の区画問題は質問が出ている。そこでの市の考え方の説明としては、「区画の見直しについては利用者の推移を見ながら検討する」ということを伺っている。

- （委員）渡邊会長が代表をされている「ほしのぎんか」さんは、おはなし会の終わりに「帰る前に本を借りて帰りましょうね」と声掛けされていたのがとてもよかった。他の読み聞かせグループにも広がると良い。また、司書から絵本の選書のアドバイスができますよ、という声かけをしてみてもいいだろうか。

⇒（事務局）

図書館として参考にしていきたい。

- （委員）子育てに関する情報収集を図書館も積極的に行い、利用者に提供してほしい。例えば、ブックスタート、子育て支援センター、子育てサークルの情報などを図書館でもできる限り情報発信に努めてほしい。

⇒（事務局）

スペースに限りはあるが、可能な範囲でいろんなチラシを置くなどの情報提供に努めていきたい。

- （委員）こどもの読書活動推進ビジョンを市が策定している。これは市立図書館だけでなく、学校図書館、児童文化センターの図書室なども含めた計画であるが、そろそろ次の改定に向けた取組があるのではないかと考える。

⇒（事務局）

今のビジョンは第4次の計画で、これは令和8年度までの計画。今度は令和9年度から5年間の計画を作る時期が来るが、その改定作業は令和8年度中に行う予定になると考えている。なお、令和6年度は今のビジョンのちょうど中間年となり、年度末までに各施設での取組状況についてまとめて今後の参考にしていく。委員から図書館協議会の意見として、このビジョンについてのお話をもらっているが、先ほど申し上げた通り市立図書館だけでなく、全体的な話になるため、いろいろご意見をいただくのは結構だが、この協議会では審議できないという仕組みなので、念のためご案内させていただく。

- （委員）鳥取大学附属病院の中の院内図書館に米子市立図書館の本を配本しているが、もう少し文庫や新書があってもいいのではないかな。なぜなら、軽いもののほうが手に取ってもらいやすいから。また、貸出期間が3日間となっているが、もう少し長くなったらいい。

⇒（事務局）

文庫や新書の件については、意見を参考にしたい。

貸出期間は、医大の院内ルールである。皆さんが平等に見られるように、3日間に行っているのかなと推測する。

（3）令和7年度事業について

《事務局説明》

下記の内容について説明。

〔資料3〕令和7年度図書館事業（計画案）

《参考資料4》視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」への会員登録について

《委員質疑・意見》

- （委員）質問ではないが、米子市立図書館へ行こうキャンペーンの実施、ありがたく感じている。夏休み前に子どもたちに紹介することができた。近年は夏がとても暑く、昔なら夏休み中も学校にプールに来たり、勉強をしたりということをしてたり、学校図書館も開館して夏休み前に5冊借りていたものを返してまた借りるということをしていたが、この暑さで学校に来させることが危険、道中も危険という考え方もあり、夏休み中の登校をしない学校が増えた（特に小学校）。こういう現状なので、私も今年度は市立図書館でキャンペーンしているよね、と声掛けをして。自力では市立図書館まで行けない校区なので、おうちの人をお願いをして本を借りにいってもらおうということもでき、夏休み前にこのキャンペーンをしていただいて小学校としてはとてもありがたかった。電子書籍が増えてきているが、紙の本は脳にもいいのでやはり紙の本を読ませたい。ぜひこのキャンペーンは継続をお願いしたい。

⇒（事務局）

続けていきたいと考えているので、PRの部分で学校にもご協力をお願いしたい。

- （委員）アンケートの結果を見ながら丁寧にそれに対して考えられ、対策をとっておられるので、感心したし、頼りになるなと感じた。資料をみていたときに、アンケートの回答者数がすごく増えているなと感じたのだが、説明の中で回答期間を延ばしたりということで回答者数が伸びたのではないかと言われていたので、なるほどなと思った。来年度もアンケートをしっかりと利用者から回答いただき、反映させるべくこの協議会でも議論できたらいいなと思う。

⇒（事務局）

たくさんご意見をいただくと苦しい部分もあるが、意見がないと思考停止に陥る可能性もある。今後なるべくたくさん意見をいただけるように努めていきたいと考えている。

- （委員）感想になるが、今日の丁寧な説明ですごくよく分かった。日頃よく図書館を利用させていただいているが、新しい本もたくさん買っていて、充実しているし、いろいろ改善を図られていて大変感謝している。サピエについても今まであまり知らなかったが、説明を聞いてすごくいい取り組みだなと思った。

それと、この前、図書館友の会が開催された講演会に出席したが、支えあいがテーマになっていた。長年、この米子市立図書館の支えがあってずっと活動を続けてこられたということで、すごい感謝されたお話を聞いて、感銘を受けた。私も久しぶりに米子に帰ってきて、いま市民活動が盛んだなと感じている。市民の活動を支えていただいて、まちおこしにもつながればいいなと思っている。

⇒（事務局）

図書館でできることはこれからも続けていきたい。

まちづくりへの支援は、地域振興課の方で自治会や公民館を通じた支援をやっている。また、NPOやボランティアの人たちへの支援というのは、まちづくり企画課でやっていこうと考えている。地域活動を地域の人だけでやっていくのも、担い手不足ということもあるので、地域を越えて色々な活動が多岐に渡っていくような形になればいいなと思っており、その拠点になるのが公民館であったり、調べたり情報収集をしたりするのが図書館である。そういった循環ができればいいなと考えている。

- （委員）先ほど会長が言われた読書通帳について、実は私も同じ考えを持っている。こどもはやっぱり喜ぶだろうなと思う。大人は米子市立図書館でも、マイページを見ると、どの本を読んだかというのがわかる。自分の場合は、自分で読んだ本を作家ごとに記録して、次読む本を考えるとときに見返したりしている。大人はそういうことができるが、こどもには難しいので、読書通帳があると楽しみの一つになり、読書意欲をあげるのには効果

的かなと思う。費用対効果はあるかもしれないが、将来にとってどちらがいいかということをもたえていただけたらと思う。

ちょっと気になっているのが、図書館情報システムが平成 25 年から使っているもので、古いということ。今、Google でマイライブラリにログインできないという障害は、1 月 19 日に図書館ホームページに書かれてから、まだ解決していないのでしょうか。

⇒（事務局）

現時点で判明しているのは、昨年 8 月に従来のプロバイダが廃業するということで、プロバイダを変更した。それがなにか悪さしているのではという可能性や、図書館ホームページが暗号化に非対応であるため、セキュリティ上、他の色々なソフトが図書館経由の情報を危険性があると判断しているのではないかという可能性。場合によってはお金をかけないといけなくなるかもしれないが、今はとにかく原因を探ってもらっている段階。

（４）その他意見

○（委員）米子に来て、ふと横をみるとすごい方が結構いる。話をしてみると、そんなにすごいことをされていたのか、そういう逸材みたいな方々が身近にたくさんいらっしゃる。そういう方々が、講座みたいなことを子どもたちにしていただけたらとてもいいなと思った。

○（委員）私は他の市から米子に転入してきて、米子市立図書館の取組がすごいなといつも感心している。教科書が変わって、授業で使う図書も徐々に整えていただいて、すごく感謝している。図書館へ行こうキャンペーンでも、プレゼントを渡して図書館に親しむきっかけになっている。また、子どもたちにとって、司書さんの温かい、繰り返しの声掛けが本に目覚めるきっかけの一つなんだと思った。

○（委員）図書館利用者カードのアプリ化というのは考えられているのか、伺いたい。先ほどでたペーパータオルの件は、自分調べになるが、勤務している高校生たちで、ハンカチをもってこない女子生徒もかなりの割合いる。おそらく学校のトイレにストックされているトイレトペーパーで拭いたりしているのではないか。商業施設に置かれているペーパータオルで手を拭く習慣をそのまま学校でも実施しているんだろうなと思う。私にとって、今の職場において非常に高い課題意識になっている。

もう一つ、毎回この協議会に参加するたびに感心することが、1 月の段階で次年度の事業計画がこれだけきっちりしたものが上がってくるというのが、自分個人の仕事に振り返ってみるととても考えられない、少しでも真似したいなと思っている。一方で職員さんが増えているわけではないのにこれだけのことが毎年一定のクオリティで実施されているということは、当然スクラップアンドビルドで不要なことはやめるということもなされていると思うが、その辺が学校現場でなかなかうまく動いていない。スクラップのコツなど、ぜひ教えていただきたい。

⇒（事務局）

利用者カードの件は、スマホの利用などをされるところはちょっとずつ出てきているので、いつになるかわからないが、市立図書館がシステムを更新するときに、そういった視点での検討も出てくるのかなと思う。

事業計画やスクラップの件については、幸いここ３年ぐらいは職員の入れ替えがあまりなく、各職員がレベルアップしているというところも要因の一つと考える。あとはみんなで連絡調整を密に行っている。また、コロナ前と比べても、事業の数が増えていることから、連絡調整を密にしないと回らないということもある。

また、毎年統計をとっているので、参加者が少なかった企画など、例えば英語で楽しむ物語については、思い切って対象者をこどもから大人に変えてみたりしている。ただしガラッ入れ変えるのではなく、少しずつ対象者を変えてみたりしている。

○（委員）みなさん感じておられると思うが、図書館の司書のみなさん、ここまでたくさんのことを組み立てて、毎回すごい努力をされている。人数集めにしても、いろんなところに広報をされている。トップの皆さんが、司書さんたちが十分に力を発揮できるようなシステムづくりができています。いろいろな研修にも参加できるシステムを作っていच्छやって、素晴らしいなと思っている気持ちが、委員のみなさんも同じ気持ちであることがわかって安心した。

みなさんからの意見はかけがえのないもので、忌憚のない意見交換ができる場になって本当に良かったと、心から思っている。これからもこの図書館を市民のみなさんと一緒に応援していきたいと考えているので、委員のみなさんのご協力もお願いしたい。

4 その他

《事務局連絡》

次回の協議会の開催は、５月を予定。

5 閉 会